

高等教育機関設置に関するニーズ調査報告

令和4年度

始良市

企画部高等教育機関企画課

高等教育機関設置に関するニーズ調査報告

2

1. アンケート調査の概要

2. アンケート調査結果の概要

- ・進学意向
- ・進学希望地域
- ・進学先を検討する際に重視する点
- ・始良市に高等教育機関を設置することへの関心・期待

3. 鹿児島県における高等教育機関の整備・進学状況

4. アンケート調査結果分析のまとめ

1. アンケート調査の概要

3

(1) 調査の目的

第2次始良市総合計画重点プロジェクトに位置付けている高等教育機関の設置に関し、鹿児島県内に所在する高校の2年生、その保護者及び主たる進路指導担当教員に対し、進路等についてどのように考えているか、また、始良市に高等教育機関が設置されるとしたらどのようなものを求めるか等についてアンケート調査を実施しました。

(2) 調査方法

ア 調査対象

- ① 高校2年生の生徒（鹿児島県内の高等学校89校、13,633人を対象）
- ② 高校2年生の保護者
- ③ 主たる進路指導担当教員

イ 実施方法 総合行政ネットワーク（L GWAN）のL o G o フォームを活用したWebによるアンケート調査及び回答

ウ 実施時期 令和4年9月21日（水）～10月12日（水） ※22日間

(3) 回収結果

- ① 高校2年生の生徒 1,517人
- ② 高校2年生の保護者 919人
- ③ 主たる進路指導教員 58人

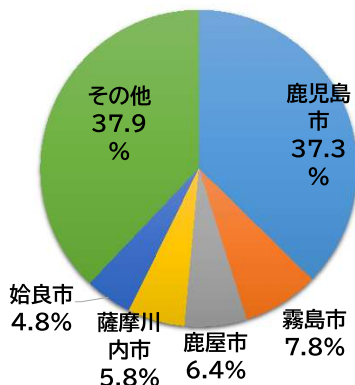
〔※①②については、標本調査として許容誤差5%信頼度95%とした場合の必要標本数「384」を満たしています。〕

1. アンケート調査の概要

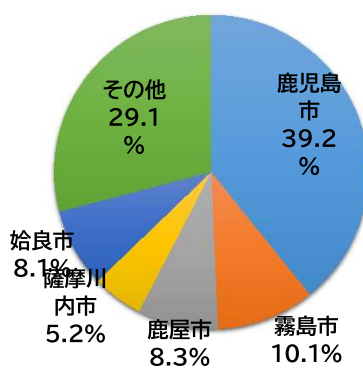
4

回答者人口分布と鹿児島県人口分布は類似しており、県内広域における意見を反映したアンケート調査結果である。

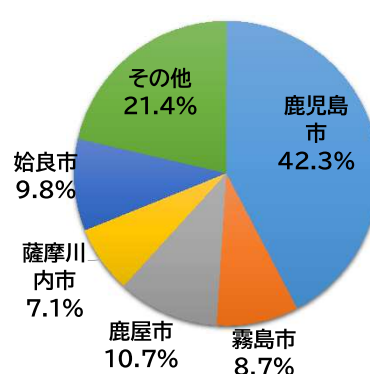
鹿児島県の人口



回答者の居住地



回答者の高校所在地

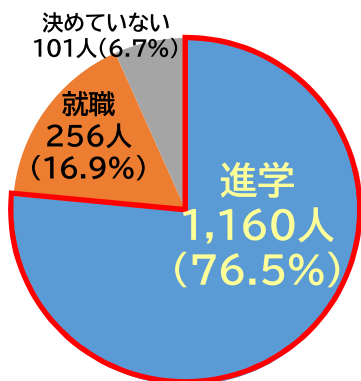


2. アンケート調査結果の概要

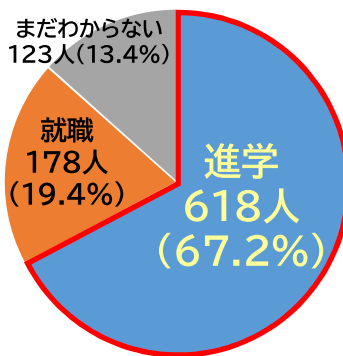
5

高校卒業後の進路として、多くが「進学」を考えている。

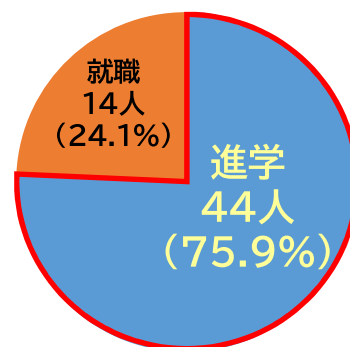
高校生



保護者



進路指導教員

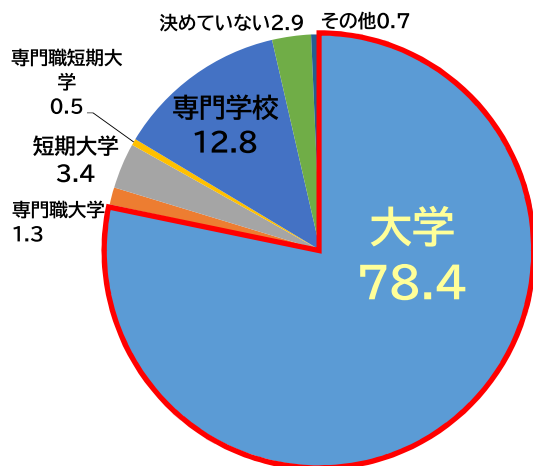


2. アンケート調査結果の概要

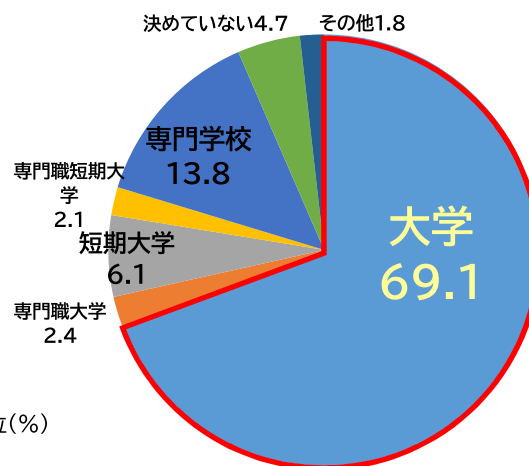
6

進学希望先の学校種は、「大学」希望が多数を占めている。

高校生



保護者



単位(%)

2. アンケート調査結果の概要

7

「進学」と回答した高校生1,160人のうち、「大学」と回答したのは909人で、回答者全体（1,517人）の59.9%である。

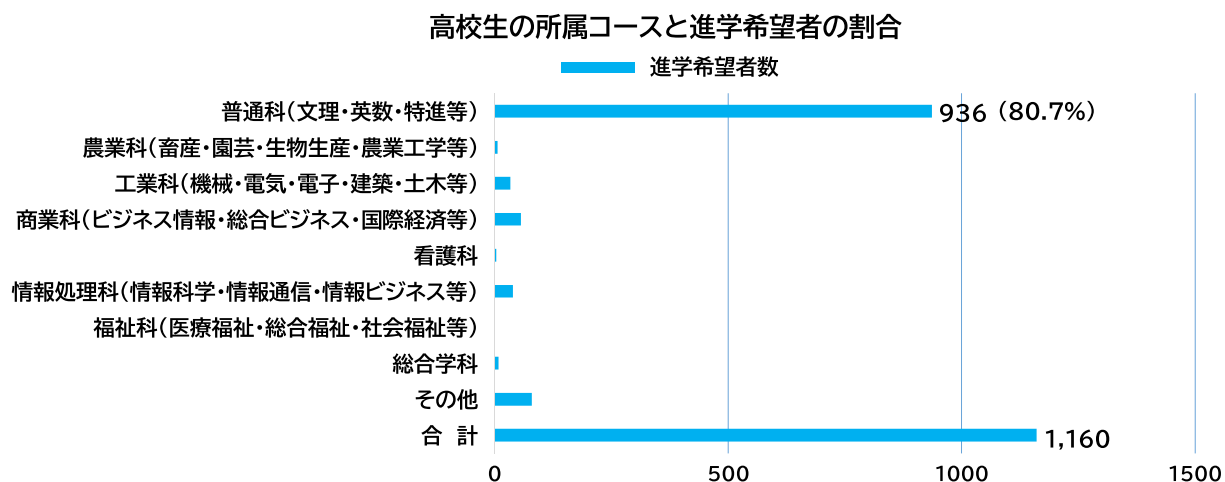
		進 学							就 職	決めて いない	合計
		大 学	専門職 大 学	短期 大 学	専門職 短期 大 学	専門 学 校	決めて いない	その他			
回答者数 (人)	1,160	909	15	40	6	148	34	8	256	101	1,517
回答割合 (%)	76.5	59.9	1.0	2.6	0.4	9.8	2.2	0.5	16.9	6.7	100.0
		高等学校卒業業者数				大学入学志願者数・割合					
令和2年3月	人数	14,427人				5,515人					
	割合	100.0%				38.2%					
令和3年3月	人数	13,956人				5,467人					
	割合	100.0%				39.2%					

近年の鹿児島県の大学志願率と比較すると、今回の高校生アンケート調査は、大学進学を希望する割合が約20ポイント高く、大学進学を希望する回答者が比較的多い調査であった。

2. アンケート調査結果の概要

8

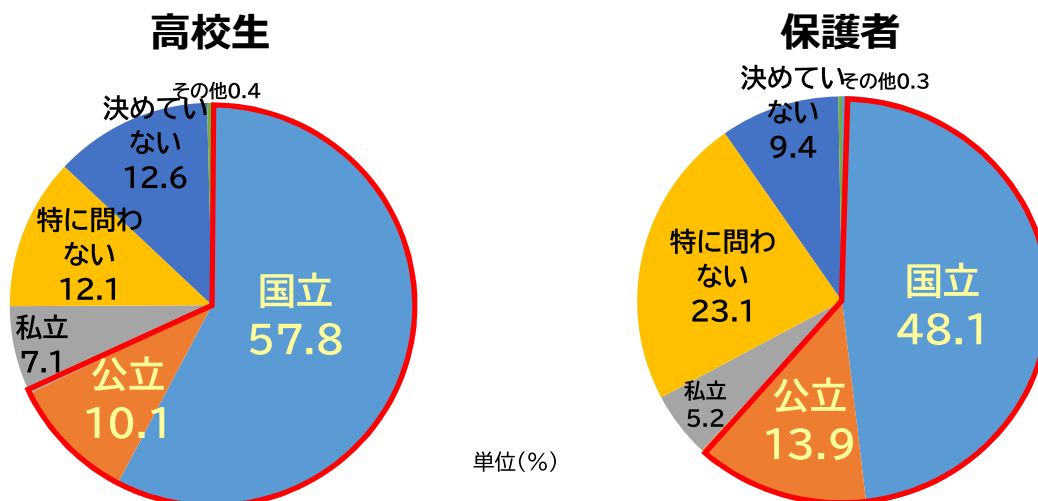
「進学」と回答した高校生1,160人のうち、936人（80.7%）は普通科に所属。



2. アンケート調査結果の概要

9

進学希望先の設置主体は、「国立」希望が多数を占め、「公立」を含めた「国公立」は6割以上である。



2. アンケート調査結果の概要

10

高校生の大学希望者は「国立」、短期大学希望者は「公立」希望、専門学校希望者は「決めていない」が多い。

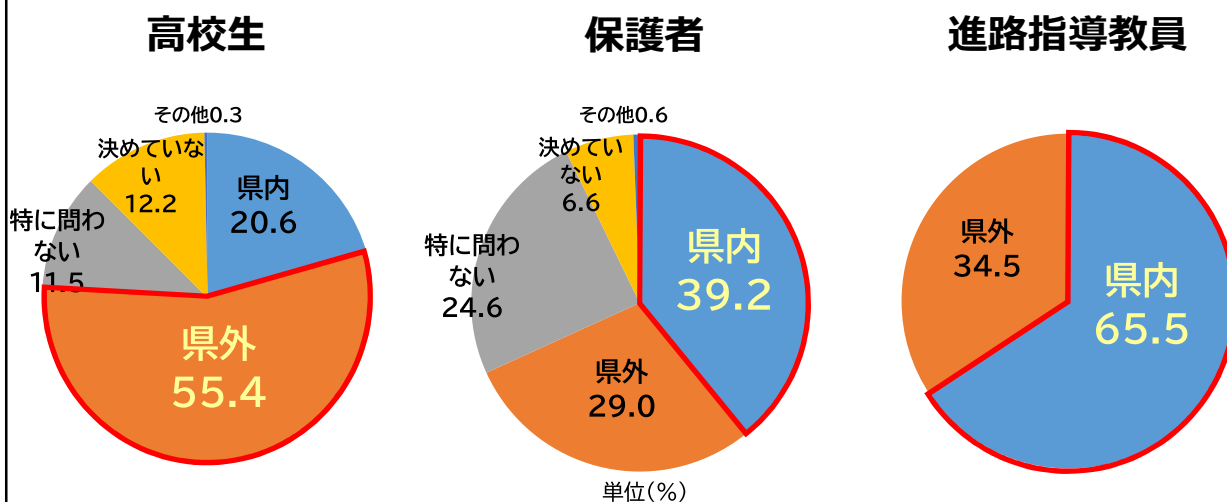
進学希望学校種ごとの希望設置主体

	国立	公立	私立	特に問わない	決めていない	その他	合計
大学	657人 72.3%	83人 9.1%	53人 5.8%	62人 6.8%	53人 5.8%	1人 0.1%	909人 100.0%
専門職大学	3人 20.0%	2人 13.3%	1人 6.7%	1人 6.7%	7人 46.7%	1人 6.7%	15人 100.0%
短期大学	4人 10.0%	12人 30.0%	8人 20.0%	9人 22.5%	7人 17.5%	0人 0.0%	40人 100.0%
専門職短期大学	0人 0.0%	0人 0.0%	1人 16.7%	3人 50.0%	2人 33.3%	0人 0.0%	6人 100.0%
専門学校	3人 2.0%	17人 11.5%	17人 11.5%	52人 35.1%	57人 38.5%	2人 1.4%	148人 100.0%
決めていない	2人 5.9%	1人 2.9%	2人 5.9%	9人 26.5%	20人 58.8%	0人 0.0%	34人 100.0%
その他	1人 12.5%	2人 25.0%	0人 0.0%	4人 50.0%	0人 0.0%	1人 12.5%	8人 100.0%
合計	670人 57.8%	117人 10.1%	82人 7.1%	140人 12.1%	146人 12.6%	5人 0.4%	1,160人 100.0%

2. アンケート調査結果の概要

11

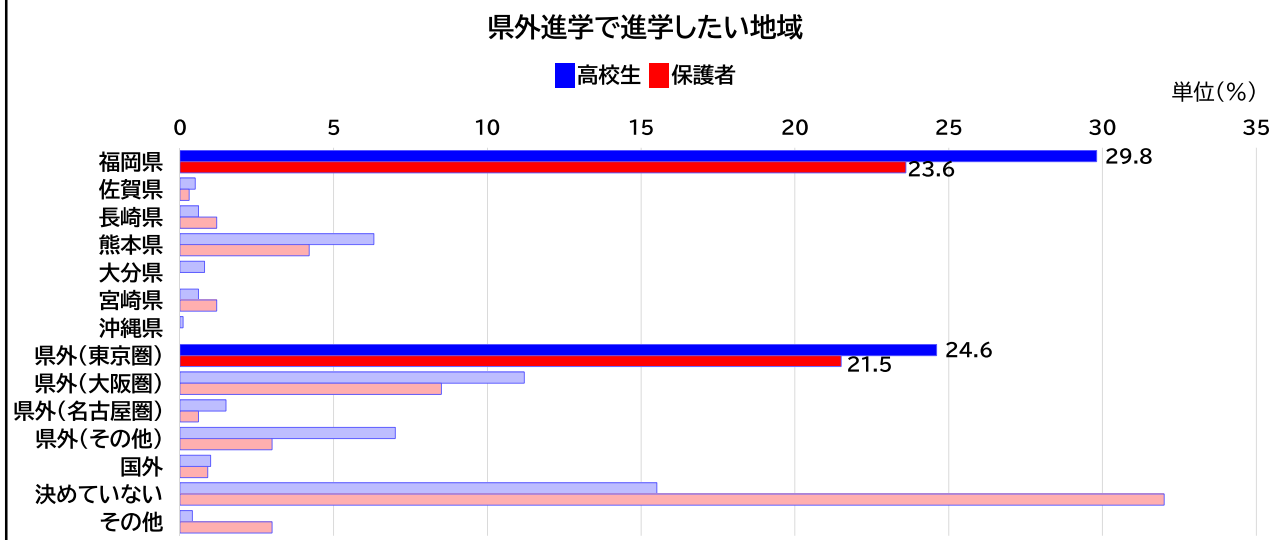
進学希望地域は、高校生は「県外」希望が半数以上、保護者は「県内」希望が多い。進路指導教員は「県内」希望が多いと捉えている。



2. アンケート調査結果の概要

12

県外進学希望先の内訳は、高校生・保護者ともに「福岡県」、「県外（東京圏）」の順が多い。

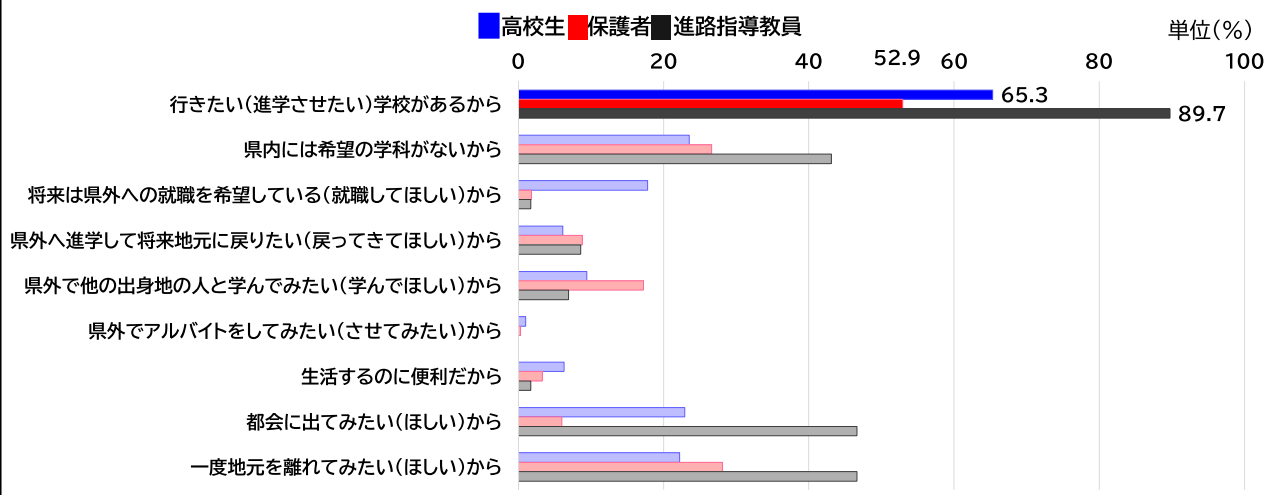


2. アンケート調査結果の概要

13

県外進学希望の理由は、高校生・保護者・進路指導教員ともに「行きたい（進学させたい）学校があるから」が最も多い。

県外進学を希望する理由



2. アンケート調査結果の概要

14

高校生の大学進学希望者が進学したい分野は、「医学・歯学・薬学」24.4%で最も多く、4人に1人が回答。次いで「工学」18.2%、「人文学」17.8%の順が多い。

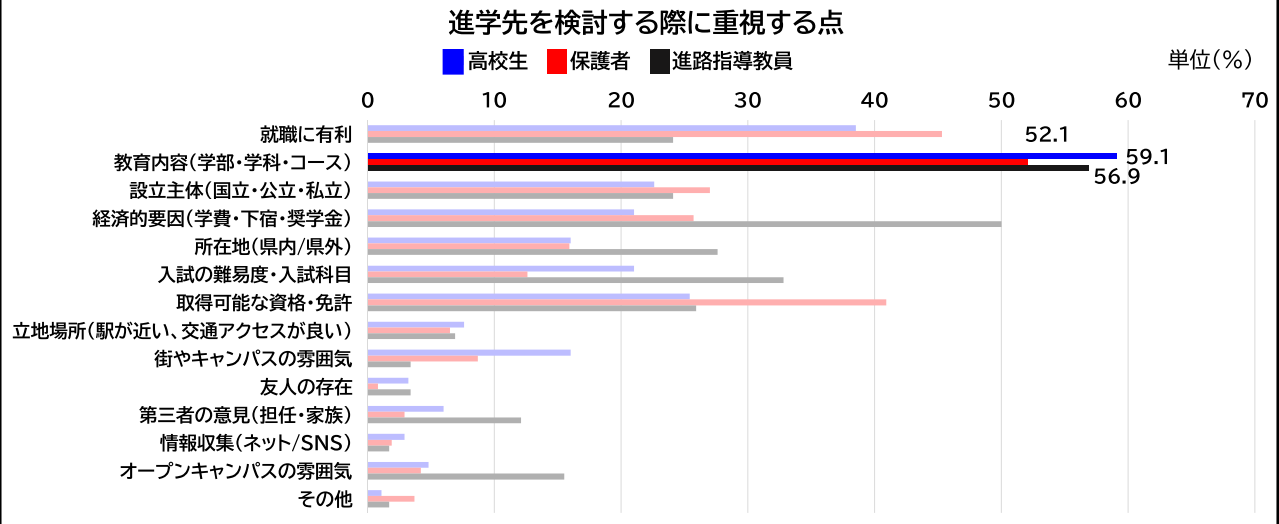
大学進学を希望する高校生の進学希望分野



2. アンケート調査結果の概要

15

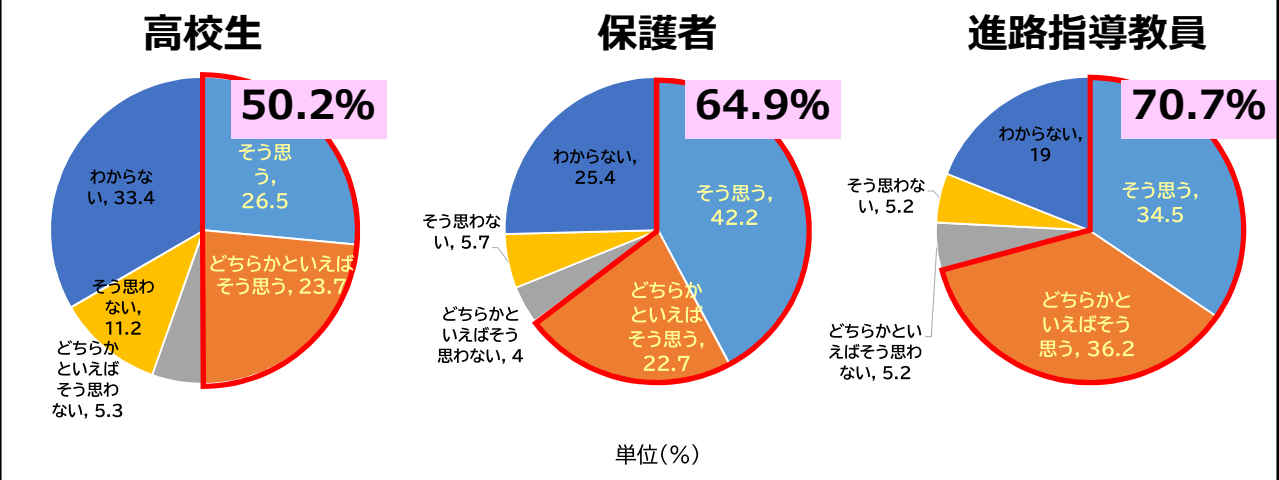
進学先を検討する際に重視する点は、高校生・保護者・進路指導教員ともに「教育内容（学部・学科・コース）」の割合が高い。



2. アンケート調査結果の概要

16

始良市に高等教育機関を設置することをいいと思う高校生は50.2%
保護者は64.9%、進路指導教員は70.7%である。



2. アンケート調査結果の概要

17

始良市在住の高校生83.0%、保護者82.7%は、始良市に高等教育機関を設置することについて、いいと回答している。始良市以外在住者も多くがいいと回答している。

【高校生】始良市在住者と始良市以外在住者の始良市高等教育機関設置に関する意向

	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらかといえば そう思わない	そう思わない	わからない	合計
始良市在住	66人 53.7%	36人 29.3%	3人 2.4%	8人 6.5%	10人 8.1%	123人 100.0%
始良市以外在住	336人 24.1%	323人 23.2%	77人 5.5%	162人 11.6%	496人 35.6%	1,394人 100.0%

【保護者】始良市在住者と始良市以外在住者の始良市高等教育機関設置に関する意向

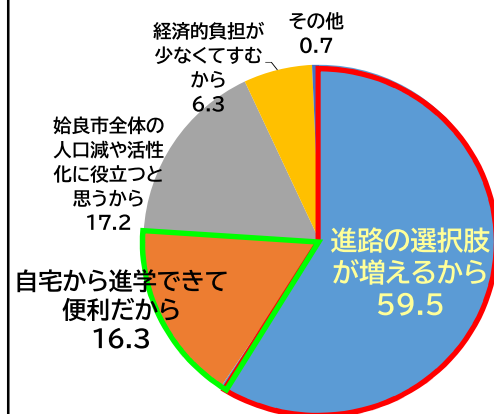
	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらかといえば そう思わない	そう思わない	わからない	不明	合計
始良市在住	86人 64.7%	24人 18.0%	8人 6.0%	6人 4.5%	9人 6.8%	0人 0.0%	133人 100.0%
始良市以外在住	302人 38.4%	185人 23.5%	29人 3.7%	46人 5.8%	224人 28.5%	1人 0.1%	787人 100.0%

2. アンケート調査結果の概要

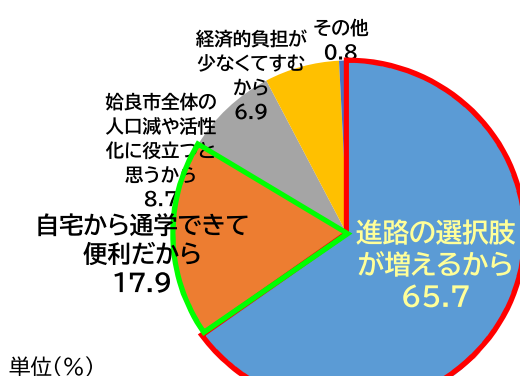
18

始良市に高等教育機関ができたらいと思う理由は、高校生・保護者ともに「進路の選択肢が増えるから」が最も多い。

高校生



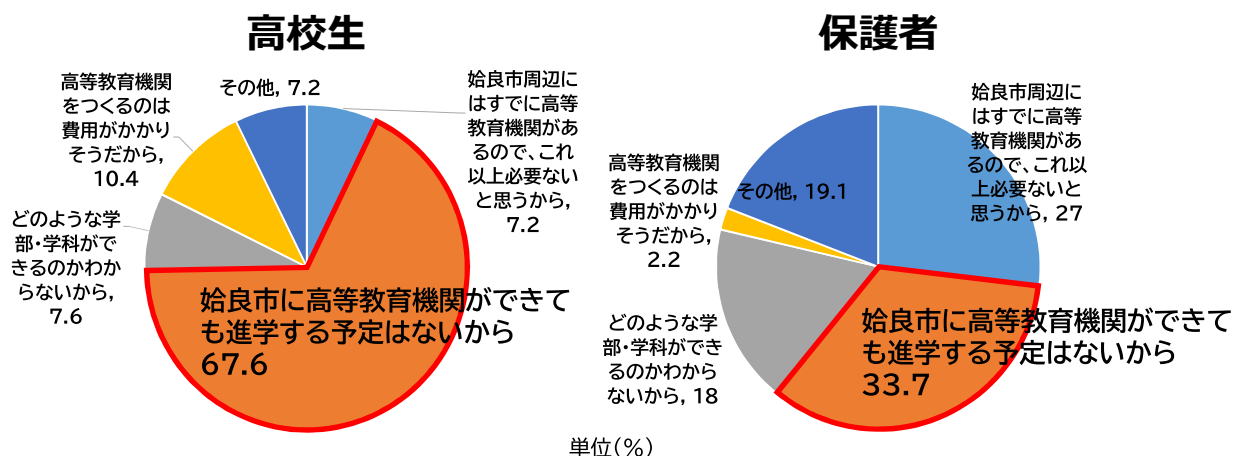
保護者



2. アンケート調査結果の概要

19

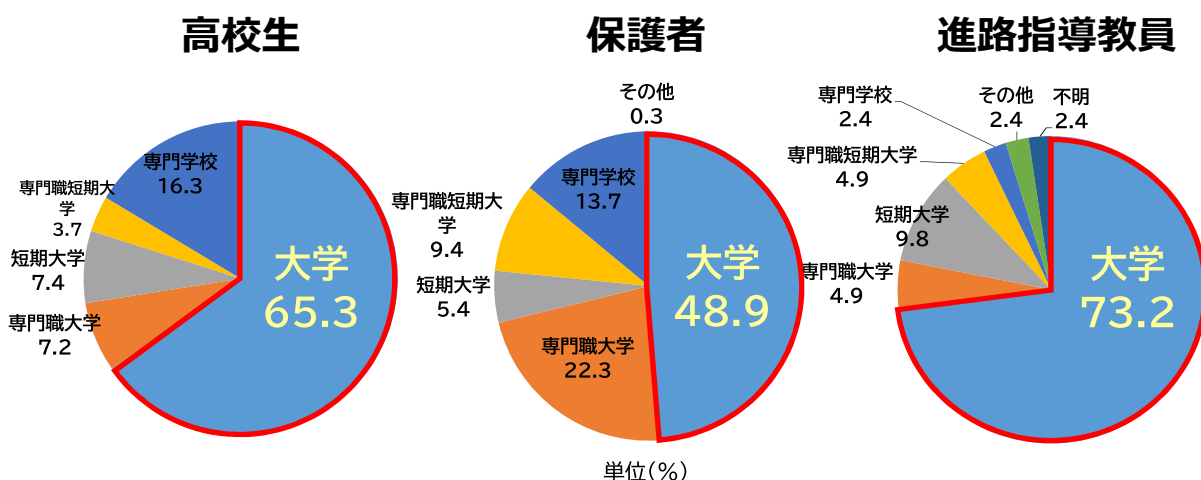
始良市に高等教育機関ができなくてもいいと思う理由は、高校生・保護者ともに「始良市に高等教育機関ができて進学する予定はないから」が多い。



2. アンケート調査結果の概要

20

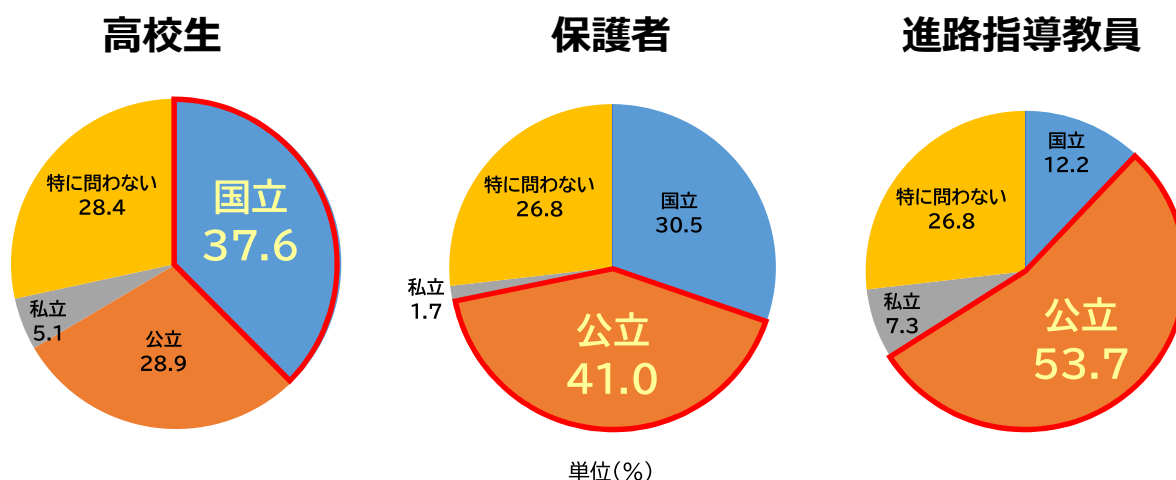
始良市にできたらいいと思う高等教育機関の種類は、「大学」の割合が多い。



2. アンケート調査結果の概要

21

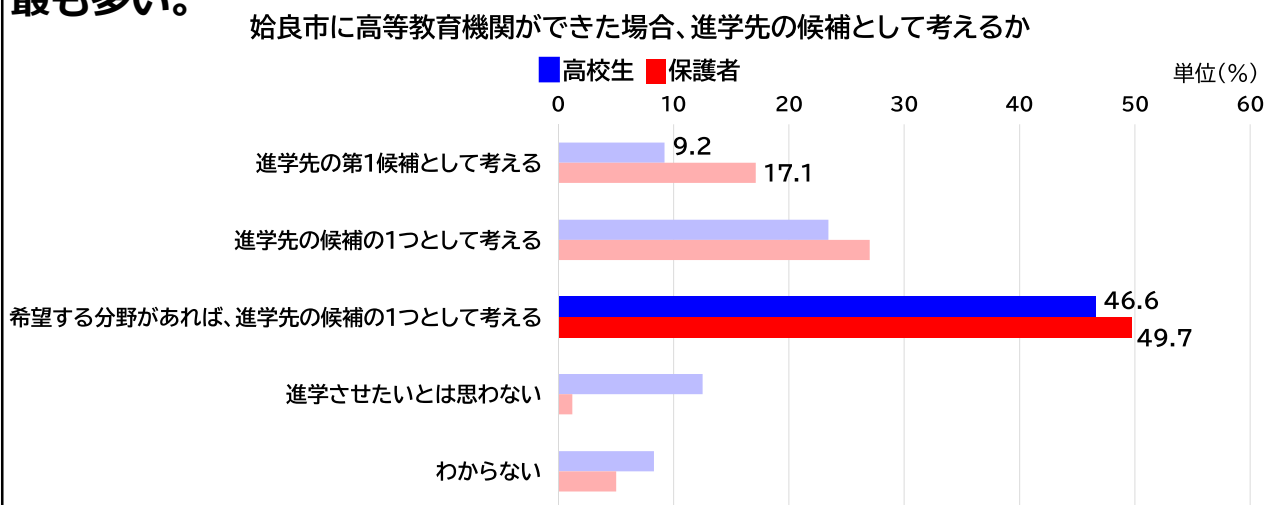
始良市にできたらいいと思う高等教育機関の設置主体は、高校生は「国立」、保護者と進路指導教員は「公立」の割合が多い。



2. アンケート調査結果の概要

22

始良市に高等教育機関ができた場合の進学意向は、高校生・保護者ともに「希望する分野があれば、進学先の候補の1つとして考える」が最も多い。

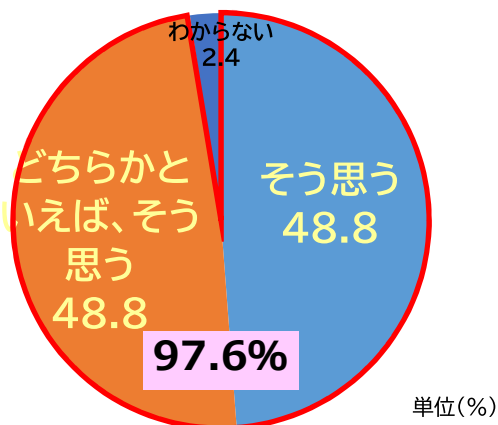


2. アンケート調査結果の概要

23

進路指導教員は、始良市に高等教育機関が設置された場合、生徒を進学させることについて、ほとんどが前向きな回答。

始良市に高等教育機関ができた場合、生徒を進学させたいと思うか



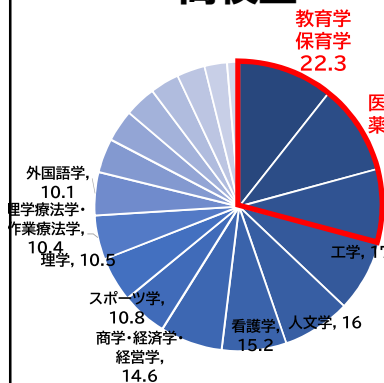
2. アンケート調査結果の概要

24

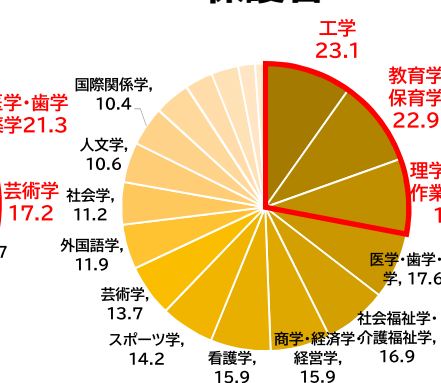
始良市に設置が期待される分野は、高校生は「教育学・保育学」「医学・歯学・薬学」「芸術学」、保護者は「工学」「教育学・保育学」「理学療法学・作業療法学」、進路指導教員は「看護学」が多い。

単位 (%)

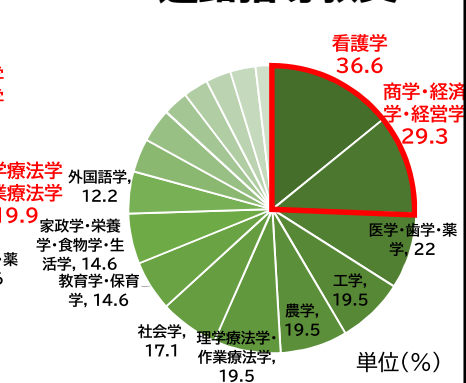
高校生



保護者



進路指導教員

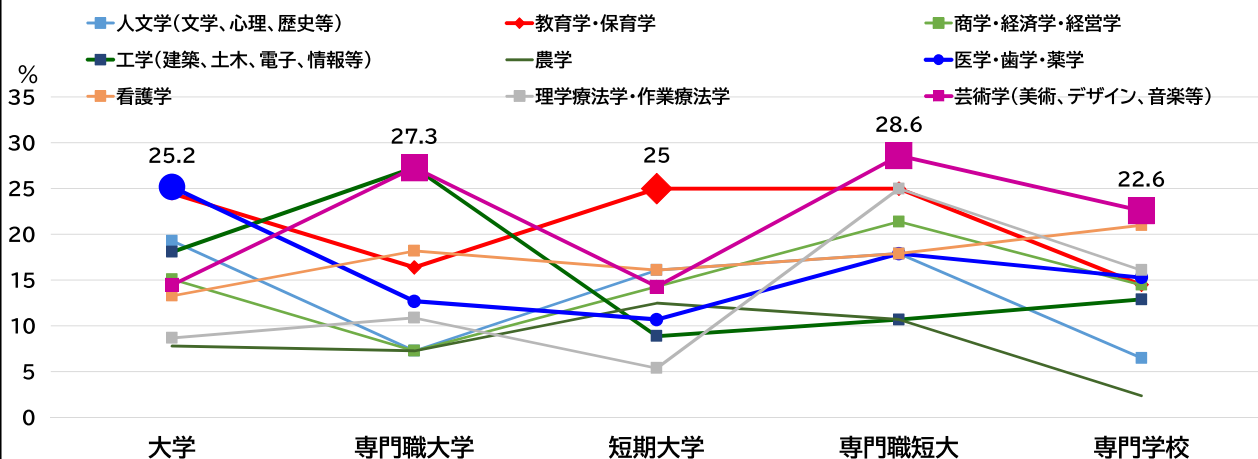


2. アンケート調査結果の概要

25

高校生が始良市に設置を希望する種別分野は、大学は「医学・歯学・薬学」、短期大学は「教育学・保育学」、専門職大学、専門職短期大学、専門学校は「芸術学」の希望が多い。

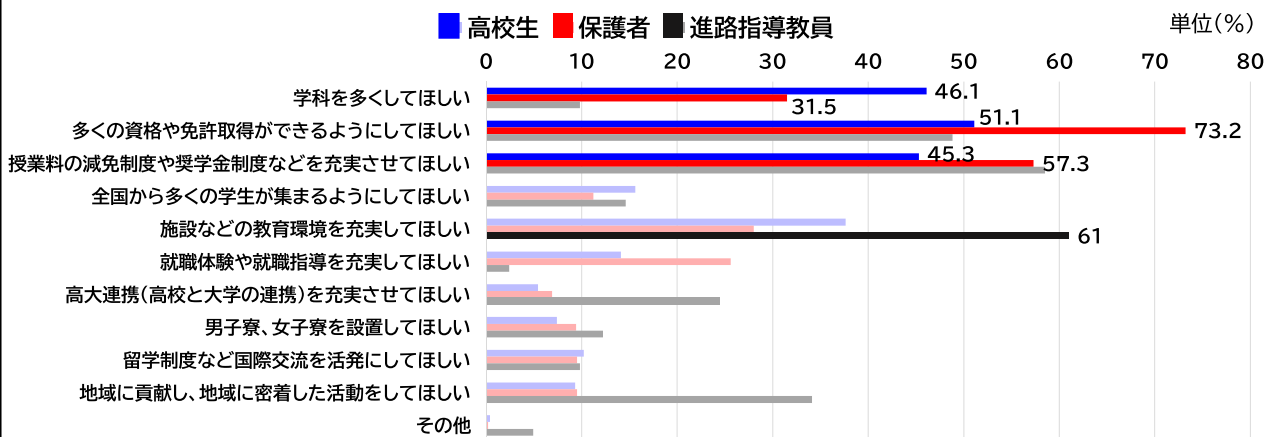
始良市の高等教育機関として設置を希望する学校種別の設置希望分野



2. アンケート調査結果の概要

26

始良市に高等教育機関ができた場合に期待されることは、高校生・保護者は「多くの資格や免許取得」「授業料の減免制度や奨学金制度などの充実」「学科を多く」の割合が高い。進路指導教員は、「施設など教育環境の充実」の割合が高い。



高校生の自由意見〈抜粋〉

ぜひ、始良市に大学を設置して下さい。鹿児島県には、大学や短期大学が少ないと思います。もし、一つでも大学や短期大学ができましたら、進路の選択肢も広がりますし、県外から来る方も増えると思います。

「県内で進学したい」という友人が多いが、現状鹿児島には高等教育機関が少なく選択肢が狭いので、県内の優秀な学生を鹿児島に留めておくために、良いと思う。

自分は大学どうこうの前に都会に出てみたい、上京したいという気持ちが強い。

保護者の自由意見〈抜粋〉

利便性がいい場所なので、県外に行かないと取得出来ない資格のとれる学校が、県外に行かなくても進学出来れば親としては選択が広がるので有難い。

ひとり親、低所得者の環境下にある子供達でもお金のことで未来を諦めることなく通える学校があればと思います。

どのような専門的な学びができるか次第だと思う。何か魅力的な学科であれば、価値はあると思います。鹿児島で学べない学科を希望してる人は県内に残りたくても県外に行くしかないのです。

2. アンケート調査結果の概要

29

進路指導教員の自由意見〈抜粋〉

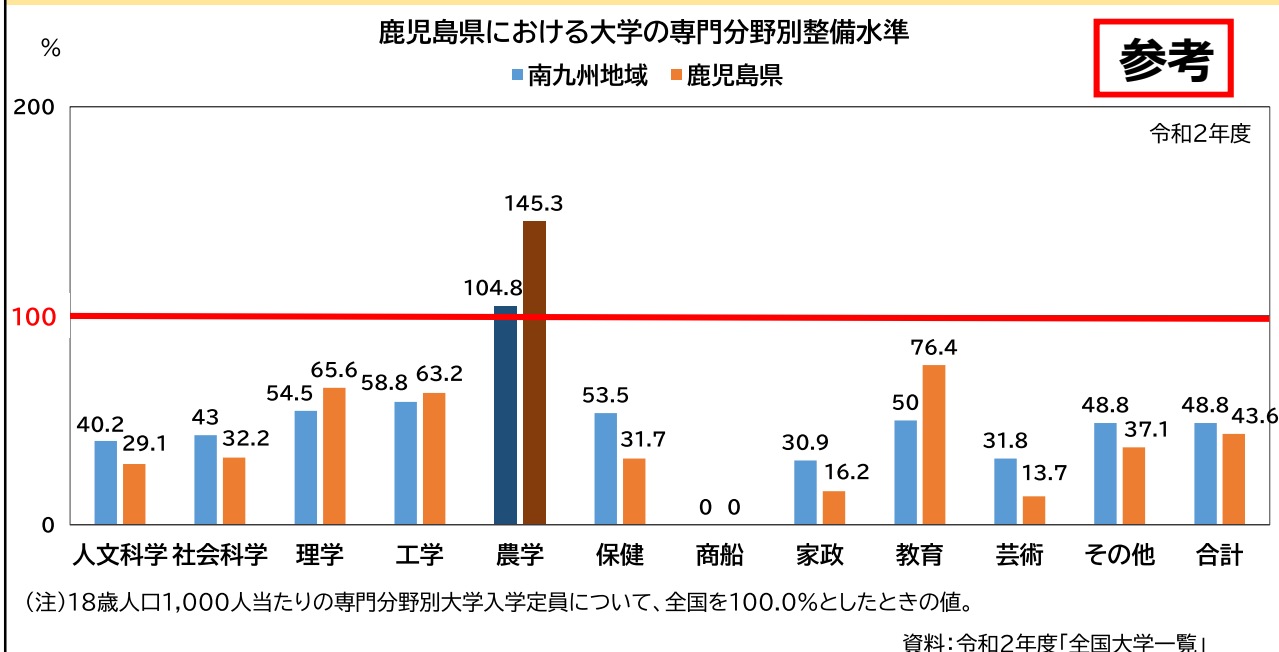
どういう人材を育てるのか、また大学卒業後にどのような職場で活躍するのを想定して人材を育成するのかをしっかり考えてもらいたい。

鹿児島は公立大学がないので、できることを期待しています。生徒の学力向上にもつながると思います。

進学志向の高まりがある一方で、現在鹿児島にある国公立・私立大だけでは、学生・保護者の希望を満たす大学がないことが実情であると思う。

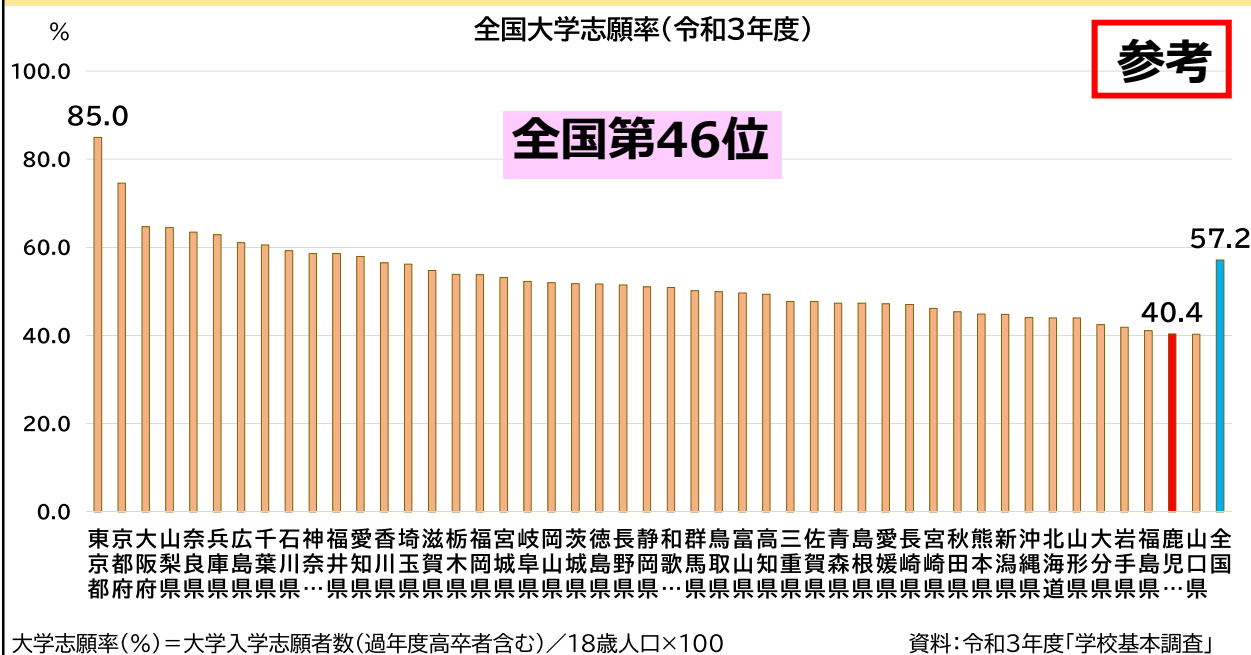
3. 鹿児島県における高等教育機関の整備・進学状況

30



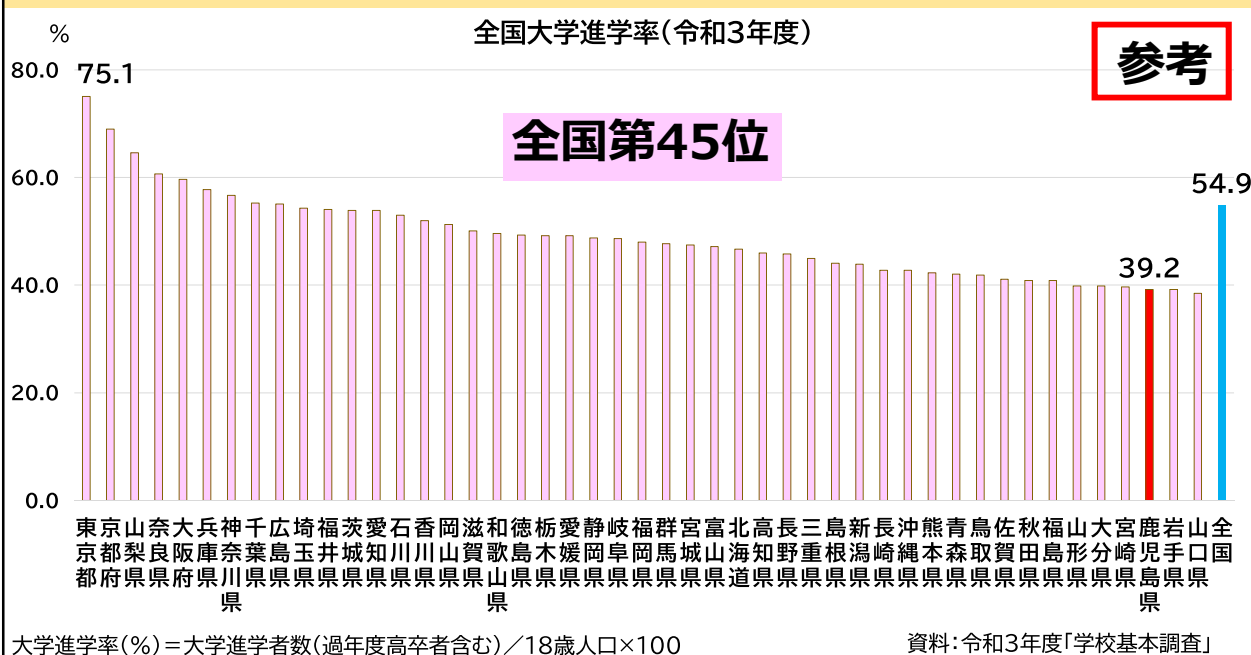
3. 鹿児島県における高等教育機関の整備・進学状況

31



3. 鹿児島県における高等教育機関の整備・進学状況

32



◆まとめ①

今回のアンケート調査では、始良市に高等教育機関を設置することについて肯定的な回答が多く、特に始良市在住の高校生及び保護者では8割以上に達している。また、肯定的な回答をした回答者の6割は選択肢が増えることを理由にあげており、設置する高等教育機関については「大学」を希望する回答者が多くを占めている。

◆まとめ②

現在の進学希望分野や始良市に高等教育機関が設置された場合の希望分野については、「医学・歯学・薬学」「工学」「教育学・保育学」などの回答が多く、また、回答者の属性によっては「人文学」「芸術学」「商学・経済学・経営学」「看護学」「理学療法学・作業療法学」などの回答も比較的多い。

医学部の設置については現行制度では認められておらず、新規の医学部設置は難しい状況。
薬学部については、文部科学省において6年制の薬学部の定員を抑制する方針があり、薬剤師不足地域では例外的に認められる場合があるが、基本的には認めない方向である。

◆まとめ③

鹿児島県の大学志願率及び大学進学率の現状を踏まえると、鹿児島県内に新たな大学を設置することは、大学志願率及び大学進学率の増加に寄与する可能性はあると考えられることから、高等教育機関（特に大学）の設置について検討することは意義があると言える。

◆まとめ④

鹿児島県内の大学においては、農学分野以外の分野の入学定員は全国平均よりも少ない。アンケート調査結果では、「医学・歯学・薬学」や「工学」「教育学・保育学」などを希望する回答者が多かったが、「人文学」「芸術学」など他の分野を希望する回答も見られた。

◆まとめ⑤

分野については、産業界等の社会的需要の観点からも検討が必要である。鹿児島県の製造品出荷額構成比では食料品製造業が36.0%で最も多く（令和3年経済センサス）、食料品製造業が主要産業となっている。しかし、食料品製造業と関係する農学分野については、既設大学に十分な規模の定員が設定されている。

◆まとめ⑥

社会的需要の観点については、始良市あるいは鹿児島県において将来的にどのような産業の強化を図るのか、どのような分野の人材が必要とされるのかなど、将来計画や将来構想として重点化を図る分野を見据えて検討することが適当と考えられる。